

6年が過ぎました

あの東日本大震災から6年が過ぎました。13万人の方がいまだに避難生活を余儀なくされている現実。東電の福島第一原発では毎日7千人の作業員の悪戦苦闘にもかかわらず、汚染水の処理や廃炉には目途がたっていない現実。同じ国で起こっている現実です。

一方、私たちは自分の身の周りの問題・課題に忙殺される日々を暮らしています。今の被災地や特に福島の実状に私たちが直接できることはあまりないのかも知れませんが、今も厳しい状況にある方々がいる、危険な状況が存在する、ということをおぼろげに忘れることなく、思いを寄せ続けること。そして、6年前にそれぞれに感じた気づきを折に触れ思い出してみること、そして、少しでも自分の行動に活かしていくこと。それは私たちの日常をよりよく生きるためにも役立つことではないかと思うのです。

会頭 鈴木悌介